

進学・就職ともに実績があり、多様な進路選択が可能な吉城高校。

今回は、「地域を学びのフィールドに」をモットーに課題解決能力を育成し、生徒の人生デザインの幅を豊かにすることを目的としたYCK（吉高地域キラメキプロジェクト）を市民の皆さんに紹介します。

YCKプロジェクトは、今、社会で最も必要とされている「キャリア教育」の中心を担う取り組みです。YCKプロジェクトでは、地域全体が1つの大きな学校です。そこでの先生は、外国人観光客だったり、会社の社長さんだったり、お年寄りだったり…。地域を舞台にこの取り組みを通して、生徒自身がどんな夢を実現したいのか、自分はどうな人間で、どんな強みがあるのかなどを考え「生徒が自主的に自分の人生を幸せな方向に導く力」を学びます。学校、地域それぞれが持つ力を最大限に発揮したとき、吉城高校から巣立つ生徒はどんな成長を遂げるのでしょうか？



鈴木泰輔先生

大学進学や就職のための知識や技術、部活動での経験はもちろん大切です。それに加え、YCKプロジェクトを通して、地域を知り、地域の大人と関わることによって社会性や協調性、コ

問 YCKプロジェクトを通して身につけてほしい力は？

学校で学んだ知識や技術は社会でいかに生かすかが重要です。それが結びつかず、卒業後に苦労したり、在学中も学習に意欲が上らないという課題が生まれています。そういった課題を解決するために、これまで継続してきた地域に根付いたボランティア活動を活用し、生徒の自主性を育み、自ら考えて実践する力を身につけることを目的に始めたのがYCKプロジェクトです。



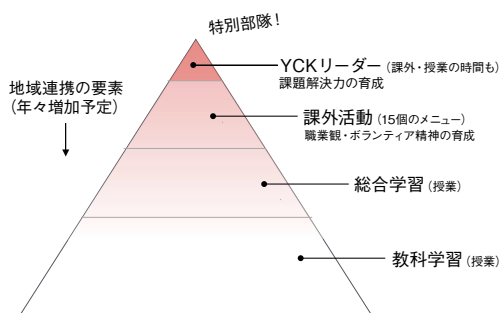
鈴木健校長先生

問 YCKプロジェクトを始めた理由は？

コミュニケーション力を身につけ、自前で課題を発見し、解決方法を導く力を身につけてほしいです。顔が見える地域『飛騨市』だからこそ可能なプロジェクトですね。

問 今年度はさらに強化されるとお聞きしましたが。

YCKプロジェクトをプログラム化し、生徒が積極的に参加しやすい環境をつくりまします。そのために学校のカリキュラムや地域との連携を強化していきます。生徒自身が目的意識をもって選択できるのがYCKプロジェクトの魅力です。生徒の主体性を引き出す仕組みをつくっていきます。また、昨年より地域からキャリア教育コーディネーター2人を加えて体制強化を図ります。



いろいろな経験ができそうで面白そうだと感じたのと、自分に合っているテーマの活動があったので参加しました。実際に活動を通して地域のあたた

問 YCKプロジェクトに参加した感想は？

現役吉城高校生 インタビュー



毎年和光園に訪問して交流しています



今年1月に行った三寺ミッションの様子

地域に対して新しい発見がたくさんありました。何かを企画して実践するということは他の高校ではなかなかできま

問 YCKプロジェクトで学んだことは？



3年 上道朱理さん

不思議なんですけど、活動に参加した日のほうが家での勉強が集中できるんです。YCKプロジェクトに参加すると忙しいんですけど、充実感も感じるようになりました。

問 勉強や部活との両立は大変じゃない？



3年 山村一颯くん

かさを感じました。地域をより良くしようとする想いも知ることができました。自分を見つめ直す機会になったり、物事を考える視野も広がったりしました。活動を地域の人に褒めてもらってやりがいも感じました。



他の高校ではできない活動が吉城高校ではできます！勉強や部活動との両立も可能です。高校1年生の頃から参加していればよかったなあと思うくらいの活動です。ぜひ、YCK

進路を考える中学生にむけてメッセージ



3年 笹岡充花さん

せん。いろんな世代や職業の方と関わることで物事の進め方や人のまとめ方も学びました。自分の主張を伝えることは進学をはじめ、社会人になっても活かせることだと思います。

地域の人口が減っている中で、古川祭の屋台曳きに40人も高校生が参加してくれてとても有難かったです。市外の高校生にも参加してもらったことによって古川祭や飛騨市に興味を持ってくれたり、将

澤田敦さん
(今年度古川祭屋台主事、
三光台組当番長)

授業ばかりだけでなく、地域の大人と関われること自体がすごくいい学びだと思っています。どんどんやってほしいです！

円光寺 圓山正真さん
『三寺ミッション』では三寺まいりのことをノートがびっしりになるまで調べて本番に臨んでいてびっくりしました。



地域の方からの
メッセージ

Kプロジェクトに参加している人々と関わって、自分の強みを見つけて欲しいです。

取材を通して、自分の感じたことや考えていることを堂々と語っている姿にとても感じました。これからの吉城高校の取り組みに注目です。



秘書広報課 藤堂光

広報係からひとこと



YCK報告会の様子

YCK報告会に感動しました。校長先生の『高校生は失敗してもいい！』という言葉が印象的でした。YCKを通して出会った人とのつながりや経験がよい刺激になっています。

坂下裕美さん
(吉城高校卒業生保護者)
今年2月に開催された

来地元に戻ってきてくれたり、それぞれの将来につながればいいなと思います。